

# 船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結び —

校長室だより No.29

“やさしく かしく たくましく”

～ 本気と礼節の教育 ～

令和4年9月7日 文責:安生昌弘

## ◆ 全国や福島県規模で見る学力

9月5日に4～6年生には学力調査の個人票を配付しました。今年4月に行われた全国学力調査(6年生)とふくしま学力調査(4～6年生)のものです。個人ごとの結果は、その通りですが、学年毎の平均正答率では、どういう状況なのかをお知らせします。全国や県平均を100とした場合の本校児童の正答率を数字で表しています。100より大きくなると正答率が高いということになります。

	全国平均比	福島県平均比
全国学力・学習状況調査 (6年生)	国語	XXX
	算数	XXX
	理科	XXX

	4年生 県平均比	5年生 県平均比	6年生 県平均比
ふくしま学力調査 (4～6年生)	国語	XXX	XXX
	算数	XXX	XXX

コロナ禍にも負けずに子ども達も先生達も頑張っていることが分かります。しかし、まだ伸びしろはありますので、学力向上が図れる指導や効果的な家庭学習の指導に力を尽くしていきます。

## ◆ 身近になる中学受験

現在、福島県には2つの県立中学校があります。会津学鳳中学校と双葉未来学園中学校で、共に高校との中高一貫校です。毎年、本校の6年生が数人受験をしてきました。そして、令和7年度に県立安積中高一貫校(仮称)が開校します。6年度の冬には中学入試(募集定員60名)が始まります。本校の4年生が6年生の年です。入試ですから結構難しい問題が出題されますが、是非チャレンジして欲しいと思います。

試験は適性検査という各教科の総合的学力を測るペーパーテストと文章の読解力と表現力を測るペーパーテストを1時間ずつ。そして集団面接を行います。裏面に令和元年度の適性検査の一部を掲載しましたので解いてみて下さい。県立中学校が求める学力が理解できます。なお、掲載したのは検査Iの6分の1に当たるので10分程度で解く分量になっています。入試問題なので、6～7割程度正解すると合格できるのではないかと思います。



学校と家庭がタッグを組み、一つ(ハイブリッド)になって2倍以上の力(パワー)で効果的に子どもたちを育てたいと願い、校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。